

AMDA医療支援に謝意

台湾の火災 立法委員3人が訪問



AMDA本部を訪れた台湾の立法委員（左から3人）

台湾・新北市の遊園地でのイベント中にカラーパウダーに引火し、約500人がやけどをした火災で、医療支援を行った国際医療ボランティアAMDAの本部（岡山市北区伊福町）を31日、台湾の立法委員（国会議員）3人が訪れ、支援への謝意を伝えた。

防災や環境保全などに関する視察のため、来日したのに合わせ、岡山を訪問。一行7人を小池彰和AMDAボランティアセンター長らが出迎え、総社市、福島県相馬市、宮城県気仙沼市の3市長から託された手紙を渡した。手紙には、火災の負傷者へのお見舞いと東日本大震災での支援

に感謝する気持ちをつづっている。

訪問団長の姚文智氏は「日本からの援助に感謝する。今後も互いに協力し、友情を深めたい」と話し、陳節如氏は「日本からの医療支援がスムーズになるよう法整備を行った」と報告した。

一行はこの後、岡山大の森田潔学長を表敬。京都、神戸などを回り、2日に帰国する予定という。

（伊丹友香）